

市議会だより おおだ



2025(令和7)年1月23日発行

都会から“元気”を、大田から“感動”を！
ようこそ！ 山村留学センターへ

令和6年度三瓶こだま学園 21期
収穫祭
心響杏



表紙の写真

三瓶こだま学園 (写真提供 山村留学センター)

～ 収穫祭 太鼓の披露 ～

🍁 12月定例会	2
🍁 一般質問に8人	5
🍁 常任委員会・視察報告	9
🍁 特別委員会中間報告	13
🍁 おでかけトーク報告	14

12月定例市議会は、2024(令和6)年12月2日(月)～17日(火)までの会期で開催され、上程された議案について慎重に審議した結果、全議案とも原案どおり可決しました。



(一般会計総額 256億2,663万円)



富山町山中の被害

現年耕地災害復旧事業
2,777万円

令和6年7月の豪雨、台風10号(8月末)及び11月豪雨で被災した農地・農業用施設の災害復旧(7件)



久手町刺鹿の被害

現年土木災害復旧事業
1,000万円

令和6年11月豪雨で被災した公共土木施設の災害復旧(13件)

その他の補正

補正内容	補正額
定住促進事業 (東京圏からの移住希望者へ助成)	260万円
財政調整基金新規積立金 (令和5年度決算剰余金の2分の1相当額を基金に積み立て)	2億3,000万円
乳幼児等医療給付事業 (乳幼児の医療費を助成)	500万円
児童手当 (所得制限の撤廃や支給期間を高校生年代まで延長)	200万円

皆さんからの請願・陳情

〔不採択〕

▼「日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書」の提出を求める請願(請願者)

新日本婦人の会大田支部

支部長 清水 信江

委員会提出議案

〔全会一致、原案可決〕

▼厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書の提出について

12月定例市議会

一般会計
補正予算
(第3～6号合計)

補正額 8億929万円

主な補正内容



子ども医療費助成事業
1,300万円

子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、お子さんが安心して必要な医療を受けられるよう医療費を助成



生涯学習センター改修事業
4,100万円

仁摩生涯学習センター及び仁摩図書館について、老朽化した空調機器の改修工事

指定管理議案一覧表

施設の名称	指定管理者となる団体の名称	指定する期間
いきいき工房祖式	祖式地区社会福祉協議会	令和7年4月1日から令和9年3月31日まで
大田市葬斎場	株式会社 日本斎苑	令和7年4月1日から令和13年3月31日まで
三瓶山周辺観光施設 (国民宿舎さんべ荘)	株式会社 さんべ開発公社	令和7年4月1日から令和12年3月31日まで
三瓶山周辺観光施設 (三瓶観光リフト)	株式会社 飯南トータルサポート	令和7年4月1日から令和12年3月31日まで
三瓶山周辺観光施設 (西の原レストハウス)	株式会社 necco	令和7年4月1日から令和12年3月31日まで
三瓶山周辺観光施設 (北の原キャンプ場)	公益財団法人 しまね自然と環境財団	令和7年4月1日から令和12年3月31日まで

◇ 12月定例会提出議案等賛否一覧表

議案名	議員名等																			
	議決結果	賛成	反対等	小川和也	伊藤康浩	柿田賢次	清水好	宮脇康郎	和田章一郎	根亘和之	森山幸太	胡摩田弘孝	石田洋治	松村信之	小林太	月森和弘	塩谷裕志	石橋秀利	河村賢治	
■市長提出議案																				
議案第318号 専決処分(令和6年度大田市一般会計補正予算(第3号))の承認について	承認	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第319号 令和6年度大田市一般会計補正予算(第4号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第320号 令和6年度大田市一般会計補正予算(第5号)	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第321号 令和6年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第322号 令和6年度大田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第323号 令和6年度大田市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第324号 令和6年度大田市簡易給水施設事業特別会計補正予算(第1号)	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第325号 令和6年度大田市大田市駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第326号 令和6年度大田市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第327号 令和6年度大田市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第328号 令和6年度大田市病院事業会計補正予算(第2号)	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第329号 大田市いきいき工房の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第330号 大田市一般市営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第331号 訴えの提起について	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第332号 大田葬斎場火葬炉設備更新工事契約の締結について	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第333号 いきいき工房祖式の指定管理者の指定について	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第334号 大田市葬斎場の指定管理者の指定について	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第335号 三瓶山周辺観光施設(国民宿舎さんべ荘)の指定管理者の指定について	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第336号 三瓶山周辺観光施設(三瓶観光リフト)の指定管理者の指定について	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第337号 三瓶山周辺観光施設(西の原レストハウス)の指定管理者の指定について	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第338号 三瓶山周辺観光施設(北の原キャンプ場)の指定管理者の指定について	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第339号 令和6年度大田市一般会計補正予算(第6号)	可決	13:1	欠	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第340号 令和6年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第341号 令和6年度大田市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第342号 令和6年度大田市簡易給水施設事業特別会計補正予算(第2号)	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第343号 令和6年度大田市大田市駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第344号 令和6年度大田市水道事業会計補正予算(第2号)	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第345号 令和6年度大田市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第346号 令和6年度大田市病院事業会計補正予算(第3号)	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第347号 大田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第348号 大田市市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	12:2	欠	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第349号 大田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第350号 大田市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第351号 名誉市民の顕彰につき同意を求めることについて	同意	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
■議員・委員会提出議案																				
議案第352号 大田市議会議員の議員報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例制定について	可決	13:1	欠	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
意第9号 厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書の提出について	可決	14:0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
■請願・陳情																				
請願第7号 「日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書」の提出を求める請願	不採択	3:12	●	●	○	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—

※定数18名(現員16名)、うち議長(河村賢治)は採決に加わりません
 ※○は賛成、●は反対等(反対、継続審査、態度保留等々) ※「欠」は欠席

いっぱん質問

市政に対する一般質問は、12月5日、6日に行われ、8人の議員が執行部の考えをたどしました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は1人1議題とし、その他の質問項目があった場合は、質問項目のみを掲載しています。(内容は、ホームページ(<https://www.city.oda.lg.jp/>)、QRコードで閲覧できます。)

大田市議会公式
YouTubeチャンネル



▲書き初め練習会6年生 (12月13日 大田小学校)

体育館空調設備の 計画的な整備を

国の動向をみながら対応



質問動画

質問

気候変動の影響で、夏の猛暑が当たり前となり、熱中症による救急搬送も急増し、日常生活に影響が出ており、児童・生徒の学びの環境の改善が急がれる。学校は、学びの場だけでなく災害時の避難所にも指定され、地域の防災拠点の役割も担う。以下、3点を伺う。

- ① 学校での熱中症発生の現状及び熱中症対策
- ② 学校の空調設備の現状
- ③ 体育館空調設備の計画的な整備

答弁

① 市内小・中学校での熱中症により救急搬送した事例は4件であり、いずれも速やかな対応で重篤な事態には至っていない。体育の授業や部活動などに発症している。

学校での熱中症対策は、教育委員会

みやわき やすろう
宮脇 康郎 議員

で作成した気温・湿度に応じた活動指針を毎年各学校に通知し、未然防止の徹底、適切な初期対応をお願いしている。

② 全ての普通教室や保健室、図書室、職員室、校長室等は空調設備を整備したが、一方で、理科室や家庭科室等の整備は遅れている。

③ 児童生徒の活動や災害時の避難所としての役割を担っており、環境の確保は重要と認識している。しかし、空調だけ整備をしても効果は薄く、断熱仕様にするなど、多額の費用が必要となる。財政状況等を考慮すると、慎重にならざるを得ない状況にある。

国は避難所と

なる公立小・中学校等の体育館等への空調設備の整備を進める予算確保に動いており、国の動向を注視して対応したい。



▶市内中学校の体育館

要配慮者等安全確保体制の整備及び自主防災組織の状況は

関係機関と意見交換を行い、組織率の向上に努める



質問動画

かきだ けんじ 議員
柿田 賢次



け、調整及び協議を行っており、今年度は、志学地区の自主防災会等と協議を行い、その地区の計画を年度内に作成できるように取り組んでいる。その他の地区についても、自治会や自主防災会等、関係機関と継続的に意見交換を行い、組織率の向上や計画の作成に努めたい。

質問 災害対策基本法では、市町村は要配慮者のうち、災害時に支援を要するもの「避難行動要支援者名簿」を作成しておかねばならないとあるが、その現状は。

また、令和3年に避難行動要支援者ごとの「個別避難計画」の作成も努力義務化された。大田市としての取り組み状況及び自主防災組織の組織率向上に向けての活動状況について伺う。

答弁 平成25年の災害対策基本法改正により「避難行動要支援者名簿」の作成が義務づけられ、本年11月1日現在で5316名の登録がある。

「個別避難計画」については、自治会や自主防災組織等と連携し、作成に向



▶防災研修会（長久いきいき会）

安心できる財政運営を市債・返済額のピークは

市債残高のピークは、令和11年度末の324億円



質問動画

しおたに ひろし 議員
塩谷 裕志



が終了するため、令和16年度末には231億円と減少する見込みである。

②かつての人口規模を前提に整備した公共施設を維持していくことは現実的ではない。今後は、あらゆる経費について人口規模に見合ったものにしていくことが必要である。広報おた、大田市ホームページ等でも情報発信する。

③ユニバーサルデザイン等を取り入れ、誰もが利用しやすい庁舎にしていきたいと考えている。その上で、デジタル技術の活用により、業務の効率化や職員のワークライフバランスの充実に努める。

質問 大田市駅前開発をはじめ、隣保館新築、葬斎場改修、子育て拠点施設整備、大田小学校整備、新庁舎整備と、2百億円を超える大型建設事業が進められるが、市民は将来の財政運営を大変懸念している。以下について伺う。

①これら大型事業の返済が始まる令和16年度に返済終了する事業、市債残高、返済額

②大型事業の開始にあたって市民の不安を払拭するための情報発信等

③新庁舎整備を好機と捉え、職員の仕事環境・働き方の改善策など

答弁 ①市債残高は、令和11年度末の324億円がピークになる。令和12年度から令和16年度にかけて、過去の大型建設事業に係る元金償還



▲大田市駅前周辺東側土地区画整理事業

訪問介護と 介護人材確保の課題は

介護人材の確保に対する
支援を継続する



質問動画

もりやま こうた
森山 幸太 議員



ら、所定の時間内で業務を行う訪問介護員の人材育成に時間を要することなどである。

諸課題については、都市部のような急速な介護需要の増加や介護人材の不足とは傾向が異なるが、地方から都市部への人材の流出も想定されることから、資格取得に係る受験料や研修受講料などの補助、訪問介護サービスが不十分な地域においてサービス提供を行う事業者への助成など、今後も引き続き介護人材の確保に対する支援を継続していく。

質問 2025年に、団塊世代の方が全員75歳以上の後期高齢者になる。今後もさらに高齢化は進むことが予想され、介護サービスの利用増加のみならず、介護職員の不足が危惧されている。訪問介護については、国の制度が変わる中で大田市においての状況について伺う。また、介護人材確保についての諸課題について伺う。

答弁 訪問介護サービスの状況については、山間部や市の周辺部でのサービス提供が不十分であると認識している。要因は、複数の利用者宅を効率的に訪問することができない市の中心部に比べて、移動時間や交通費がより多く必要となることや、利用者を一人で訪問し、信頼関係を築きなが



103万円の壁の 変更による制度の問題点及び その解決策は

市民や職員に負担が少ない
窓口改革の推進を目指す



質問動画

いとう やすひろ
伊藤 康浩 議員



の情報を周知することに加えて、部署間での情報共有に努め、必要と思われる関係部署の紹介を行うなど、丁寧な窓口対応を行っていききたい。

市では現在、窓口業務の改善に向けた検討、調査を行っている。

アナログとデジタルの両方を有効に活用し、多岐にわたる相談への対応方法も検討しながら、市民の皆さんや職員に負担が少ない窓口改革の推進を目指している。

質問 103万円の壁の変更に伴い所得や住民税が料金算定の基礎である国民健康保険料・保育料等が増加し給料の手取りが増えても支出がそれ以上に増加するケースがある等、制度の変更やその問題点についてあらかじめ市民が相談でき、説明できる窓口が必要と考えるが所見を伺う。

答弁 制度が複雑化し、改正も頻繁に行われる昨今、一つの窓口で全ての制度の正確な情報を把握し、必要十分な説明を行うことは現実問題として非常に難しい状況である。

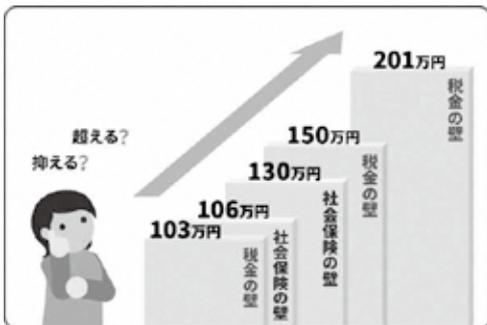
現在は、最初に相談を受けた窓口において、関係する部署を紹介するなどして対応している。

今後も、広報やホームページで最新

制度が複雑化し、改正も頻繁に行われる昨今、一つの窓口で全ての制度の正確な情報を把握し、必要十分な説明を行うことは現実問題として非常に難しい状況である。

現在は、最初に相談を受けた窓口において、関係する部署を紹介するなどして対応している。

今後も、広報やホームページで最新



持続可能なまちづくりは

地域に合ったまちづくりを
支援する



質問動画

ごまだひろたか
胡摩田弘孝 議員



かした取り組みが生まれている。
② 持続可能なまちづくり推進事業総合交付金、ステップアップ準備交付金などの支援を行っている。財源を確保するためには法人化が望ましいが、地域に合った組織体制の検討が必要である。

③ 地域住民が集落支援員と共に地域活動に参画し、地域を牽引する経験を重ね、次世代に引き継がれることが持続可能なまちづくりにつながる。

④ 地域運営組織の設立が重要であり、安定した組織体制と財源確保が必要である。先進事例の紹介や各種支援制度の情報提供など、体制整備を支援していく。財源確保については、

総合交付金のほか、国・県・各種団体からの助成を紹介するなど支援していく。



▲大屋の拠点施設の完成式

質問 当市のまちづくり事業は、各まちセン単位で施策が実施されている。
一部の地域では地域運営組織が結成され、生活交通の確保、買い物支援、地域防災、見守り、通いの場など様々な課題に取り組んでいるが、今後の持続可能なまちづくりの施策や方向性など4点を伺う。

答弁

① 8地域で運営組織が設立され、地域交通としての自治会輸送、農産物の加工や産直市での販売など、それぞれの地域において特色を生

5歳児健診の導入は

5歳児健診のあり方について検討



質問動画

いしだ ようじ
石田 洋治 議員



また、医師の確保、県内の専門医療機関が少なく、受診できるまでの待機期間が長いなど、専門医の指導が受けられない状態が続く課題もある。

② 今年度、大田市保育研究会の代表者と5歳児健診のあり方について検討を始めた。今後、導入している自治体を参考にし、導入方法や運用体制について検討を進める。

質問 こども家庭庁は、発達障がい児の早期発見に向け「5歳児健診」の取り組みを強化している。早い段階で、適切な支援や療育につなげることができれば、こどもたちが通常学級でも問題なく学べるようになる。また、不登校が減ったという研究もある。大田市においても導入を検討すべきと考えますが、所見を伺う。

答弁

① 専門医である脳神経小児科医が保護者からの相談、保育・教育現場からの紹介等を受け、発達障がいの疑いのあるこどもに対する相談に応じている。

② 5歳児健診の導入検討について
① 大田市で取り組んでいる発達ワニニツクの現状と課題



▲乳幼児健診の様子

石田議員その他の質問項目

・子育て世帯訪問支援事業について

ないと診断された。大きな地震が発生すれば、来庁者や職員の安全確保がで

答弁

現庁舎は建築後42年経過し、現在の耐震基準を満たしてい

るべきである。

とりわけ新庁舎建設に関しては、様々な角度から慎重に議論を深め

るべきである。

恐れが大きいと危惧する。

質問

急激な少子高齢化による人口減少の進む大田市にあって、この十年以内に計画されている二百億円を超える新庁舎建設等の箱もの建設の推進はいかがなものか。国に依存する市の財政状況は危うく、借金返済に汲々となり、水道、市道などの公共インフラ、福祉、防災などの市民生活に密接にかかわる事業に財源が回せなくなる恐れが大きいと危惧する。

新庁舎建設等の推進は慎重に議論すべき

情報収集を行い、あらゆる財源確保に努める



質問動画

和田章一郎 議員



さず、また、災害対応の司令塔となる市役所が機能不全に陥り、混乱を招く事態が想定されるため、新庁舎整備が必要と判断した。

事業費削減に向けて、庁舎面積の圧縮に取り組み、一部の部署は既存の公共施設に配置できないか検討している。また、庁舎整備の財源は、国の助成制度はないが、導入を検討している設備・機能により活用できる各種補助事業など、あらゆる財源確保に努めていく。



▲現在の市役所庁舎

常任委員会報告

付託案件の主な審査内容

◎委員長 ○副委員長

総務教育委員会

(政策企画部・総務部・消防部・出納室・教育委員会・他の委員会に属さない事項)

◎胡摩田弘孝 ○伊藤 康浩

定住促進事業(まちづくり定住課)

東京圏から移住し、就職、起業等する方に補助金を交付しており、希望者増のため増額補正

問 事業内容や実績、補助金の制度はいかがか。

答 対象は一定の条件を満たす方で、2人以上の世帯は100万円、単身世帯は60万円である。(18歳未満の世帯員がいる場合は、1人につき100万円を加算)

実績は、夫婦とこども2人の世帯が1件、単身世帯が1件を交付済みであり、新たに1件転入予定がある。

財源は、県が3/4、市が1/4で、県の財源の1/2は国が負担する。

5年以上の在籍が必要で、途中で転出した場合、3年未満は全額返還、3～5年未満は1/2の返還となる。



・一般会計補正予算1件について、原案どおり可決しました。

民生委員会

(健康福祉部・環境生活部・市立病院)

◎森山 幸太 ○月森 和弘

児童手当(子ども保育課)

制度改正に伴い増額補正

問 制度の変更点は何か。

答 大学生年代を第一子としてカウントしていなかったが、制度改正により拡充したことで大学生を第一子とカウント出来るようになった。

生活及び医療等扶助費(地域福祉課)

実績見込みによる増額補正

問 医療費がかなりかかっているが、今後の見通しはいかがか。

答 検診の推奨により、がんの早期発見がある。がんの治療期間は長期になる場合もあり、増額が予想される。

令和6年度大田市病院事業会計補正予算

新陳代謝、各種手当等の実績見込みによる人件費の変動

問 新陳代謝とは具体的に何か。

答 定年を迎えた方が辞めて、新人が入るということ。給与が高い方が辞めて新人が入るため、マイナスになる。

・一般会計補正予算、その他議案8件について、いずれも原案どおり可決しました。



産業建設委員会

(産業振興部・建設部・上下水道部・農業委員会)

◎根宣 和之 ○塩谷 裕志

令和6年度大田市水道事業会計補正予算

三瓶浄水場の運転監視及びその他場外水道施設の点検・水質検査等業務について5年契約により継続して委託

問 次回の業務委託料が約40%増額となる。業務委託のあり方から検討すべきではないか。

答 薬品代は水質状況により大きく変化するため、上限見込み金額で積算している。労務単価も令和6年を基に、上昇率の上限で金額を設定している。実際は実績に基づいて清算する。

三瓶山周辺観光施設の指定管理者の指定について(観光振興課)

国民宿舎さんべ荘、三瓶観光リフト、西の原レストハウス、北の原キャンプ場の指定管理者の指定

問 国民宿舎さんべ荘について、選定後も適切な納付金制度について協議してほしい。

答 本来、納付金制度が変わるということは、市も指定管理者側も不安である。適切な納付金制度のあり方については、今後も協議していきたい。

意見 指定管理者選定のなかで、事業者側から今後を見据えた様々な提案がされている。住民の福祉向上や三瓶山周辺の活性化、経済循環や事業者の安定的な運営に寄与する取り組みについては、支援の検討をしていただきたい。

・一般会計補正予算、その他議案10件について、いずれも原案どおり可決しました。



常任委員会視察報告

民生委員会

日時：令和6年10月22～24日
視察事項

- ・愛知県扶桑町
扶桑町児童センター
「ひまわり」
子育て支援センター
「すくすくランド」
ふそつファミリーサポートセ
ンター
- ・岐阜県中津川市
中津川市ひと・まちテラス
- ・長野県松本市
多世代交流型子育て支援施設
あんさんぶる

◆ 民生委員長 森山 幸太

愛知県扶桑町 取組内容

- ①プレイルームとしてのミニ二体育館
- ②子育て支援センター
- ③こどもプラザ
- ④小学生を中心とした図工・工作室
- ⑤多機能室
- ⑥小中学生・高校生が自習できる学習室
- ⑦福祉避難所として、シャワーを完

備している備蓄倉庫

プレイルーム利用時には、こどもたちに事故がないよう必ず職員を配置している。監視カメラを設置し、常に対応している。

大田市においても、親子の相談機能や未就学児を対象とした遊びの場としての機能を複合した施設の整備を検討しており、充実した子育て支援拠点センターの開設はもとより、いつ起きてもおかしくない災害に対応できる施設を検討するべきであると感じた。



▲扶桑町児童センター「ひまわり」

岐阜県中津川市

「ひと、まち、未来を元気にする交流と学びのにぎわい拠点」を基本理念とし、子育て支援、市民交流、

学び（図書館）、観光の4つの機能を備えた複合施設。こどもから高齢者まで幅広い年齢層の市民や市外から訪れた方に、4つの機能が結びついた様々なサービスを提供して、中心市街地に新たなにぎわいを創出している。中津川市が進めるリニアのまちづくりの要となる施設である。

職員は、『元氣』をモットーに、利用者に声をかけ、意見・要望を聞きながら信頼関係を深めている。また、市民の声を参考にし、効果的なイベントを実施できるように様々な提案をしている。



▲中津川市ひと・まちテラス

長野県松本市

多世代がゆるやかにつながる交流の場として、「こどもプラザ」と「福祉ひろば」の機能を併せ持つ、

松本市初の「多世代交流型の新たな複合施設」として開設された。子育て支援施設設置の要望が多く寄せられている中、イオンタウンから新規出店計画に伴い、公共施設整備の提案を受け、庁内で議論を重ねた結果、こどもプラザと福祉ひろばの機能を併せ持った、「多世代交流型子育て支援施設」として開設した。大型商業施設内にある子育て拠点施設としても松本市初であるとのことであった。

こどもと保護者・高齢者の交流事業として、「コンサートを実施したり、高齢者が「福祉ひろば事業」で行うぬり絵などを共に行い、交流を深めている。



▲多世代交流型子育て支援施設 あんさんぶる

産業建設委員会

日時：令和6年10月29～31日

視察事項

- ・山形県天童市
ねぎびとカンパニー株式会社
- ・秋田県湯沢市
湯沢市ビジネス支援センター
「ゆざわBiz」(ピズ)」
- ・秋田県横手市
Pizz(ピルツ) 株式会社
- ・山形県山形市
居心地が良く歩きたくなるまち
ちななづくり

◆産業建設委員長 根宜 和之

山形県天童市

食糧自給率の低下が課題となつている日本において、外国産の農産物との競争に勝つために人一倍強いこだわりと情熱を持って、ネギの生産や苗の生産、農業技術指導などに特化し経営を行っている。年間生産額は他の農場を併せて約20億円。

当たり前に使われてきた化成肥料を見直し、有機肥料を本格採用し、各農家内限定で共有されていた農業知識や栽培技術を、全国のやる気がある生産者に対し、無料で指導している。

農業仲間と協力し、さらなる生産量の拡大と安定供給の基盤を作り、

独自販売ルートも構築している。

『絶対に欠品させない』という信用を武器に、固定価格で年間契約し、地方市場や農協に依存せずとも利益を確保できる体制にしている。

また、外国人労働者を積極的に雇用し、細かい就業規則などの縛りはなくして、各自の自主性に任せ、仕事の結果さえ出してもらえれば良いと考えているとのことであった。

秋田県湯沢市

これまで行政が事業者へ行っていた補助金や講演会、イベント支援では、売上低迷や資金繰り、後継者難などの問題が解消されず、倒産や事業撤退が後を絶たないとの問題意識から、令和元年に開設された市の直営の機関。

1か月あたりの相談件数は、平均約72件と多く、「ゆざわBiz」(ピズ)」の支援により、多い年で16件の創業があるなど、大きな成果と結果を出している。

売上が低迷する日本料理店では、和食の腕を活かしたサンドイッチを開発し売上を大きく拡大するなど、「ゆざわBiz」(ピズ)」のモットーである『お金は使わず知恵とアイデアを出す』を目の当たりにし、相談対応満足度が非常に高いことに納得した。

秋田県横手市

椎茸の菌床栽培を行っており、廃棄される菌床ブロックを利用して、珍しいヘラクレスオオカブトやニジイロクワガタなどを養殖・販売しており、飼育後の廃菌床は肥料として循環型の農業に役立てている。また、椎茸農場と同じ敷地に、「就労継続支援B型のリウオクス」という福祉事業所を設置し、椎茸の収穫作業など障がい者雇用につなげている。

農業と福祉の連携プラス昆虫という、大変ユニークなビジネスモデルを構築され、様々な団体の見学場として、地域の活性化につながっている。

山形県山形市

山形市では、都市計画道路の整備が進むにつれ、自家用車への依存度の高まりや、中心市街地での駐車場供給過剰などが、まちづくりの問題となっていた。そこで、車中心のまちづくりから、歩行や公共交通機関利用を中心とするまちづくりへ転換すべく、「居心地が良く歩きたくなる(ウォーカブルな)まちななづくり」と称し、自動車と自転車・歩行者の適切な分離や、居心地の良い滞在空間づくりによる多様な人々の交流の場の形成など、都市の魅力を向上させる取り組みを推進している。今後、大田市で予定されるウォーカー事業においても参考になる。



▲しいたけ工場



▲山形市七日町

議会活性化検討

特別委員長中間報告

〔10月9日開催〕

委員長 小林 太

リモート会議

対面による会議が基本であり、やむを得ない場合に活用する。

11月8日の全員協議会で、Zoomアプリを使ったリモート会議の体験を行った。

石見銀山テレビを活用した広報

番組放送については、録画（撮影）をしなければならぬ。

データ放送のメインメニューに「大田市議会のバナー追加」は、システム改修のため、費用がかかる。

「お知らせひろば」への投稿は、費用がかからず手軽で応用は効くが、誰がその作業を担うかという課題がある。

今後、更に検討する事とした。

常任委員会等の在り方

現状の通り6名構成で3委員会、欠員2名であるが、兼務は考えない。欠席の対応はリモート会議を活用する。

厚生年金加入

自営業者との年間負担額の差は、12か月平準化した試算で5千円。扶養家族が増えると、国民健康保険は、更に増額となり厚生年金の方が有利である。

全議員へも制度内容の周知が必要であり、勉強会を開催。

「厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書」を国へ提出する事で委員会決議とした。

各種団体意見交換

大田青年協議会と意見交換会を開催予定。

政務活動費

現状の12万円では十分な活動は出来ないため、増額をすべきという意見もあり。使途の透明性と議員個人の資質の向上、日々の活動に活かす事などが重要であり、議論を継続する事とした。

また、按分率を統一するべきという意見あり。

その他

会派制について

メリット、デメリットを研究する。

LINEの活用

相当な事務作業量。大田市や他市議会のLINEを参考にしながら、議論を継続していく。

行財政改革

特別委員長中間報告

〔11月14日開催〕

委員長 松村 信之

職員の定数について、人事課長・財政課長出席のもと、委員会を開催した。

職員数の現状

職員数の削減も考えなくてはならないのではないかと。

現行の住民サービスを維持するためには、少なくとも現状の職員数が必要。職員はすでに多くの業務を抱えており、業務量は年々増加している。事業の縮小・削減が重要だと認識しているが、住民にとって必要不可欠な事業もあり、廃止することが難しい。

第5次定員適正化計画の中で人件費も検討してほしい。

人事院勧告に伴う給与改定や最低賃金の引上げにより、人件費の大幅な増加が見込まれている。今後はどう抑制していくかが課題。

厳しい財政状況への対応としては、財政運営方針の見直しを予定から1年前倒ししてやっていく。

賃金水準は他市と違いはないか。

国の基準に基づき設定しており、県内他市と同様の水準となるよう努めている。

職場環境についてはどうか。

若手職員が離職した際に、周囲からのフォローが十分ではなかったという声があった。職員には、細やかな気配りを行う必要があると言っている。

デジタル化を進めていくこの話があったが、職員削減にはつながっていないようだ。その原因は何か。

デジタル化を導入するには、準備から実施までに一定の作業や時間が必要。そのうえ、効果が明確に現れるまでには、ある程度の時間を要する。

意見

職員定数は、住民サービスの低下を招かないよう過度の削減は必要ない。5次計画で、本日協議した内容を取り入れるなどの対応をしてほしい。

他市の職員数との比較

正規職員数と会計年度任用職員数の比較はどうか。職員数も大事だが、どれだけの人件費がかかっているのか知りたい。

益田・安来・雲南の3市の中で、職員数が大田市に近いのは安来市。人件費は、その様な比較ができる資料を用意し、次回説明していきたい。

開催しました

おでかけトーク



参加いただきありがとうございました

今回は「これからのまちづくり」をテーマに、市民の皆さんと意見交換をしました。当日は様々な年代・職種の方にご参加いただき、地域に関する課題や思いをたくさん話し合い、各会場ともに活発な意見交換となりました。

参加者の皆さんからは、毎回「参加して良かった」とのお声をいただいています。日頃の思いを語り合える、市議会が身近に感じられる会になるとうれしく思います。

今後またたくさんの方の参加をお待ちしています。



★志学会場★

11/10(日)開催(10名)

【主な意見】

- ・後継者がいないため独居が増えている。
- ・田舎の生活に直接触れたい都市部の方は増加していると思うが、長期滞在等に対応できる場所がない。空き家等の活用が必要。
- ・子どもに帰って欲しいと思うが、帰ってくる環境づくりが必要。
- ・三瓶在来種のそばやお米等、魅力ある商品がたくさんある。情報発信が必要であり、情報発信者と受信者のマッチングが大切。



★大代会場★

11/10(日)開催(10名)

【主な意見】

- ・道路の維持管理について、草刈りなど住民がやっていたが、高齢となり管理ができない。
- ・腐食損壊の空き家はどうなっているか。
- ・祖式から大代、井田間の県道について、早急に改良してほしい。
- ・こどもが少なくなり、学校を統合するのはやむを得ない。
- ・祖式町のいきいき工房を存続してほしい。



★馬路会場★

11/17(日)開催(11名)

【主な意見】

- ・駅やバス停まで行くのが大変。買い物をしして荷物を持ち帰るのも苦勞している。
- ・公共交通が利用しにくい住民に独自の移動手段の確保が必要。
- ・空き家について、立地的に駐車場がなく、若者が定住しにくい。
- ・災害避難経路について、まちセンまでどう避難させるのか不安。
- ・琴ヶ浜の管理について、地元で努力して管理しているが、行政としても手助けしてほしい。



とりあげてほしいテーマなど、ご意見がございましたら市役所議会事務局までお寄せください。

TEL 0854-83-8137

E-mail o-gikaijimu@city.oda.lg.jp



2025

明けましておめでとうございます。



議会を傍聴してみませんか

次の定例会の予定は**3月**です。

◇市政に関する状況や方針、地域の課題なども取り上げられる一般質問の傍聴がおススメです。地域や、職場のグループでの勉強会、授業の一環での見学もお待ちしています。お気軽に議会事務局までお問い合わせください。傍聴席の定員は64席です。団体での傍聴は事前にご連絡をお願いします。

お気軽にどうぞ!

お問い合わせ先：大田市議会事務局
(TEL:0854-83-8137)



大田市議会 YouTube 公式チャンネルをご覧ください

定例会の一般質問を動画配信しています。動画配信では一般質問の全ての内容をご覧いただけます。皆さんからのアクセスをお待ちしています!



チャンネル登録
よろしくね



大田市議会 QR コード▶

編集後記

昨年は、猛暑のため、農作物、漁業に影響が出ました。特に漁業に関しては、海水の温度が上がり、例年の漁獲量を下回りました。

また、「三瓶そば」は温暖化のために、ミツバチによる受粉が進まず、そばの発育に影響を及ぼしました。

一方、10月7日には、豪華寝台列車「瑞風」が温泉津駅に停車し、春には山陰自動車道の大田から仁摩間が開通するなど、嬉しいニュースもありました。今年は、出雲から多伎間も開通予定であります。

これにより市外からのお客様が増え、大田市の観光産業がより一層活発化することが期待されます。

最後に、2027(令和9)年に、石見銀山が世界遺産登録20周年、石見銀山発見500年になります。2年後に大田市で記念事業を予定しています。官民で成功させましょう。(清水 好)

広報広聴委員会

- 委員長 小川 和也
- 副委員長 胡摩田 弘孝
- 委員 石田 洋治
- 委員 宮脇 康郎
- 委員 清水 好
- 委員 柿田 賢次
- 委員 伊藤 康浩

坂根印刷

編集・発行 大田市議会 TEL:0854-0064 島根県大田市大田町大田口1111 TEL:0854-83-8137 FAX:0854-82-9927
https://www.city.oda.lg.jp/ E-mail:o-gikaijimu@city.oda.lg.jp